

# 足利市は新規就農者を支援します

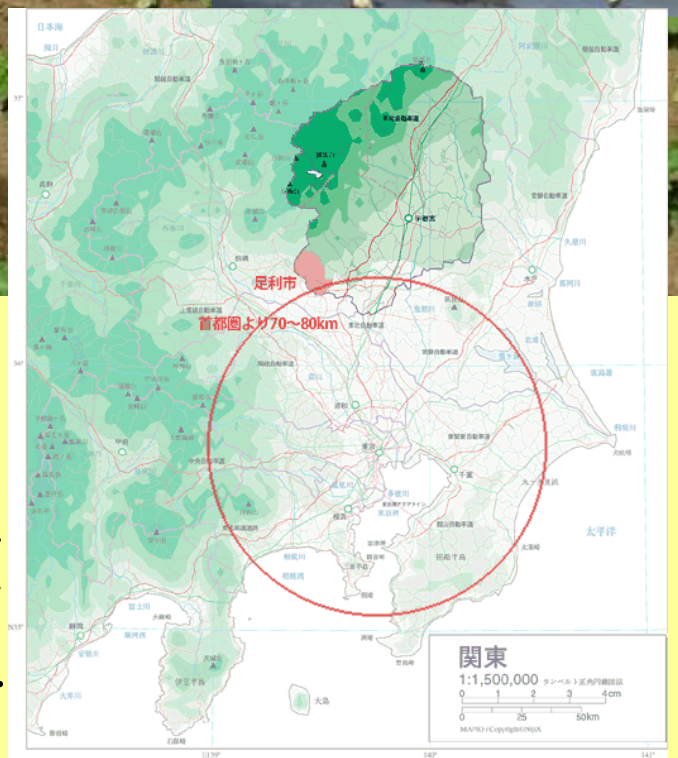
# はじめて農業



## ■ 足利市へのアクセス

東京から

- 車で東北自動車道 佐野藤岡IC利用
- 北関東自動車道 足利IC利用
- 新幹線・JR両毛線利用
- 東武伊勢崎線利用（浅草駅から）



# 足利市の農業

農業は、私たちが生きていくために必要な食料を生産する産業です。その農地は水を蓄え、緑豊かな自然環境を守るといった大きな役割を果たしています。

足利市の農業は、渡良瀬川より南に広がる平坦地域を中心に、米・トマト・いちご・だいこん・にんじん・麦などが作られ、また畜産が営まれています。

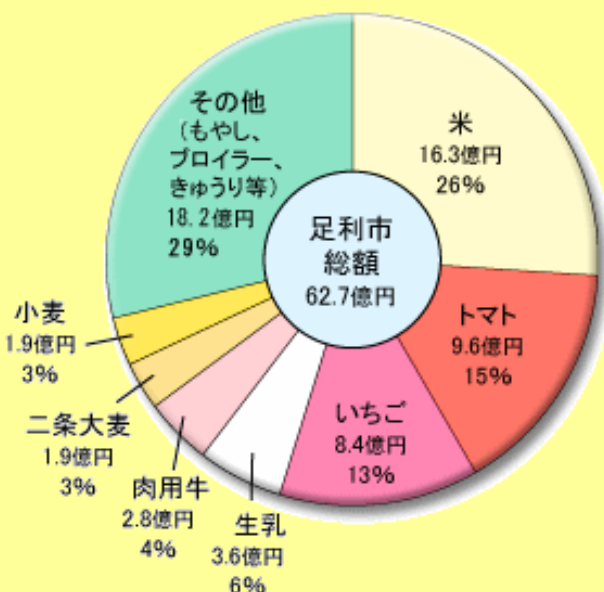
特に足利地方は、冬の豊富な日照量を活用したハウスによる野菜や花きが盛んに栽培されています。

- ◆ **いちご**：「栃木県いちご発祥の地」と言われ、栃木県のいちご栽培に大きな役割をはたしてきました。大粒で甘みと酸味のバランスが良い「とちおとめ」と「スカイベリー」を栽培しています。
- ◆ **トマト**：太陽の光をたくさん浴びて育つので光沢が優れ、糖度、酸度のバランスが良く、ビタミンたっぷりです。品種は「麗容」を栽培し、ハウスで赤く熟してから収穫できるため、遊離グルタミン酸と、リコピンの含有が豊富なトマトです。
- ◆ **トルコギキョウ**：華麗さと上品さを兼ね備え、異国情緒漂うトルコギキョウは、観賞用として最適で、冠婚葬祭用のいずれにもマッチすることから花愛好者に高い人気があります。栃木県内の生産は、足利市が出荷量、販売額とのトップです。
- ◆ **アスパラガス**：近年、足利で作付面積が拡大されており、注目を浴びている作物です。栽培品種のウエルカムは、鮮やかな緑色の太茎アスパラガスです。市場評価も高くとても美味しいと評判です。

## ◇作物別栽培面積・収穫量及び出荷量

穀物	水 稻	1, 4 3 0 ha	7, 1 0 0 t
	小 麦	1 8 1 ha	7 8 6 t
	二条大麦	5 3 1 ha	2, 1 2 0 t
	大 豆	8 ha	8 t
野菜類	トマト	2 4 ha	3, 2 0 4 t
	いちご	1 1. 7 ha	4 8 6 t
	きゅうり	1. 3 ha	1 1 3 t
	なす	0. 5 ha	3 0 t
	アスパラガス	3. 2 ha	6 6 t
果樹	日本なし	0. 4 ha	—
花卉	トルコギキョウ	3. 7 ha	1, 6 4 6 千本
畜産	乳用牛	4 4 7 頭	—
	肉用牛	1, 9 1 4 頭	—

## ◇農業生産額の内訳



(資料 「風は南南西 (安足農業振興事務所発行 (平成26年6月))

(資料 「平成16年度栃木県の生産農業所得統計」)

# 新規就農支援体制

新規就農希望者

足利市新規就農  
支援協議会

安足地域就農支援  
ネットワーク会議

就農準備  
1

**技術・営農指導相談窓口  
を開設しています。**

- ・新規就農者、トライアル就農者  
に個別相談業務を実施して  
います。

新規就農者

トライアル就農者

就農準備  
2

**就農希望者へ体験農園  
(市民農園)を用意します。**

- ・本格的に農業を始める前の体  
験圃場として利用できます。

市民農園

就農準備  
3

**トライアル就農者へ足利市農  
業大学講座を開催します。**

- ・就農に必要な基礎知識や園芸  
ハウスの見学をとおして研修  
機会を創設します。

足利市  
農業大学講座

栃木県  
農業大学校

就農準備  
4

**足利市新規就農塾で技術  
研修を手助けします。**

- ・1年を通じた農作物の栽培工  
程が学べます。

足利市新規就農塾

先進農家研修

就農準備  
5

**新規就農者へ農地・空き  
施設等の取得を支援します。**

- ・農地の使用貸借の支援や就農  
情報を提供します。

農地・空き施設等の取得支援

「認定農業者」等への資金融資制度活用

**☆農業制度資金の活用を推  
進します。**

- ・認定新規就農者等になると  
利子補給等の支援が受けら  
れます。

就農準備  
6

営農活動開始

# 自分の求める農業を始めてみよう！

## Step.1

### 農作物を作りたい！

- ・就農をイメージ  
いつ頃？どこで？何を？どれくらい？どんな風に？をイメージすることが就農の第一歩。
- ・情報を集めよう  
畑や田んぼ・園芸ハウスなどを見学したり、農産物直売所へ行ったりして多くの情報を収集する。

## Step.2

### 誰か教えて

- ・相談しよう！  
就農時期、希望作物、農地の取得や賃借、就農資金（融資制度）を確認する。

## Step.3

### 就農するには

- ・家族の賛成が必要  
資金計画、労働力、生活スタイルの変化も考え家族に相談する。
- ・基礎知識を学ぼう  
栃木県農業大学校、足利市農業大学講座に参加する。
- ・専門技術を習得しよう【足利市新規就農塾】  
地域の先進農家で研修。希望する作物を研修し、栽培技術と農業経営のノウハウを習得する。
- ・就農計画  
関係機関と話し合いを持ち、5年先を見据えて実現可能な計画を作成する。

## Step.4

### 営農までには

- ・農地の確保  
営農に必要な地区や面積を選定。農地を取得（賃借）するには農地法の許可が必要です。さらに、農地の取得には、地主や地域農家からの信頼がなければ難しい。
- ・施設、機械等の確保  
施設については、新築が一般的。しかし、既存の空き施設の取得も可能。機械については、中古の購入も視野に入れて初期投資を抑える工夫が必要です。
- ・住宅の確保  
農作物を育てるためには、時期に応じた工程管理が必要なため、就農地周辺の居住が理想です。
- ・資金計画を立てよう  
営農に係る資金だけでなく、初めの年には収入がほとんど無く生活するためのお金が必要です。2年から3年分の複数年を考えて、資金計画を立てます。

## Step.5

### いよいよ農業経営者

- ・「農家」としてのスタート  
農業の先輩から学んだ基礎知識や専門技術、将来の就農計画、資金計画を基に『自分の求める農業』が始まります。地域の一員として、新しい生活のスタートです。

## 【問合せ先】

足利市役所 産業観光部農政課

〒326-8601 栃木県足利市本城三丁目2145

TEL (0284) 21-2161

FAX (0284) 21-0643

足利市農業協同組合 営農振興課

〒326-0035 栃木県足利市上渋垂町745-2

TEL (0284) 22-4433

FAX (0284) 22-4435